

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-21 国宝館管理運営事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	口支援部門					188	国宝館運営事業	
主管課	鎌倉国宝館		関連課			190	資料収集・展示出版事業	
分野名	歴史環境 生涯学習					191	資料収集・展示出版事業	
目標 (目標値)	良質な資料の購入のほか受贈・寄託に努める。他博物館等からの借用により、展示の充実をはかる。収蔵件数1,100件(国宝7件、重文90件、重美12件を含む)。年間観覧者数70,000人。					192	国宝館管理事業	
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
	入館者数	58,773人	57,902人					
運営資源 状 況	決算値	87,303千円	88,285千円					
	(国・県)	2,467千円	2,467千円					
	(負担金等)	23,889千円	22,801千円					
	(一般財源)	60,947千円	63,017千円					
	人員配置数	4人	4人					
	人 件 費	35,261千円	35,847千円					
	協働の パートナー	財氏家浮世絵コレクション		財氏家浮世絵コレクション				
事務事業 運営経費	総事業費	122,564円	124,132千円					
	市民1人当 りの経費	694円	703円					
	対象者1人 当りの経費	2,085円	2,143円					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	鎌倉市		
	施設名称	歴史博物館	市民ミュージアム	市立博物館	自然・人文博物館	鎌倉国宝館		
	入館者数	122,936人	172,853人	136,000人	166,177人	58,773人		
	観覧料収入	6,271,525円	8,566,880円	0円	0円	21,890,930円		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)観覧料収入が一定程度増加したが、目標値には至っていない。(観覧者数・観覧料収入の増) (2)国宝・重要文化財の展示件数は増加したが、観覧者数の増加には至らなかった。(展示資料の充実) (3)収蔵作品の安全な保管・展示。 (4)寄託資料のうち8件が所有者の求めにより返却され、収蔵品の総数が減となった。(収蔵作品の充実)						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)(2)浄土宗開祖の遠忌にちなみ特別展「大本山光明寺と浄土教美術」を開催して話題性を喚起し、また重要作品を借用・展示し、観覧者数・観覧料収入の増加がはかられた。 (3)本館彫刻展示スペースに防震設備を設置し、展示品の安全をはかった。燻蒸にあたり殺菌効果のあるガスを使用した。 (4)円覚寺仏殿地割図・指図ほか2件が寄贈され、また所蔵品のうち新たに1件が市指定に指定されるなど、収蔵作品が充実した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)(2)観覧料収入は一定程度増加したが、目標値には至っていない。 (3)展示場ない防震設備未設置部分の耐震化の検討及び、燻蒸効果についての経過確認。 (4)収蔵物の充実。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)話題性のある特別展の企画、魅力ある展示品の選定をし、さらなる来館者の増加を図る。 (2)免新設備未設置部分の効果的な防震対策を検討する。 (3)燻蒸効果の確認として、日常的観察をさらに強化し、総合的害虫管理(IPM)を徹底する。 (4)寄託等の働きかけを継続する。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	鎌倉国宝館は、良好な生涯学習環境を提供するとともに、鎌倉の貴重な文化財を保護し、後世に伝える使命を有している。貴重な文化財を保護する観点から、収蔵物を充実させることが重要であり、本来的には事業の充実・拡大が望まれる。しかし、厳しい財政状況も考慮し、当面現状を維持すべきである。			評価結果	改善の必要性	鎌倉市は古い歴史をもち、多くの文化財が遺されている。これらの文化遺産を保護し、後世に伝承することは、重大な使命であり、鎌倉国宝館の担う役割は大きい。また、展覧会を通して学校教育や観光事業にも貢献しており、事業の充実・拡大が望まれる。しかし、財政状況が厳しいこともあり、当面は現状維持が妥当と判断される。	
B	有				B	有		
課長名		副館長 吉田 宗一			部名・部長名		生涯学習部 植松 芳子	